

2019 年度 物療校友会学術部放射線部会 一泊研修会

日時：2019年11月9日(土) 16時30分～10日(日) 12時00分

場所：紀の国屋甚八(奈良県)

報告者：大阪急性期・総合医療センター 宮原 哲也



《 プログラム 》

『 1 日目 』

- 講演①

『マンモトモシンセシスの臨床での有用性』

明和病院 増田 奈々子 先生

- 特別講演

『本当にそれでいいの!? 私たちの被ばく管理 ~産業医学から見る放射線被ばく~』

産業医科大学病院 永元 啓介 先生

『 2 日目 』

- 講演②

『当院における Angio 領域特殊撮影法 (Device-CT, Solitaire-CT, IV-DSA)』

大阪警察病院 泉 夏彦 先生

- 講演③

『CT 造影理論 ~イオン性ヨード造影剤の薬物動態について~』

大阪急性期・総合医療センター 宮原 哲也 先生

- 講演④

『一般撮影の撮影条件と再撮影を倫理的視点で考える ~共通善という視点から~』

大阪国際がんセンター 伊泉 哲太 先生

- 講演⑤

『診療放射線技師とリスクマネジメント』

近畿大学病院 西 環 先生

《 報告事項 》

平素よりお世話になっております。物療校友会学術部放射線部会勉強会会長の宮原です。
この度、2019 年度物療校友会学術部放射線部会 1 泊研修会を開催致しましたので、ご報告させていただきます。

今年の 1 泊研修会は、奈良の山奥にあります、旅館『紀の国屋 甚八』で開催させていただきました。旅館ということで研修会自体も畳の上に座って行うという今までにないスタイルでした。参加人数は 20 名と昨年を上回り、学生の参加もありました。また昨年と同様物療学園卒業生以外の方々の参加もあり、さまざまな方々と交流ができたことを非常に嬉しく思いました。

講演の内容に関して

1 日目

『マンモトモシンセシスの臨床での有用性』

明和病院 増田 奈々子 先生

マンモグラフィにおけるトモシンセシスの有用性に関して、症例を提示しながらお話してくださいました。腫瘍の形状や辺縁・石灰化の分布する位置・FAD など 2D の MMG では判断しにくいまたはわからないようなものでもトモシンセシスを用いることで判断ができるようなことも説明してくださいました。現在は 2D の MMG に追加撮影するような形でトモシンセシスは使用されていますが、有用性は高く、今後トモシンセシスが第一選択になる時代がくるのではないかと思うような講演でした。

『本当にそれでいいの!? 私たちの被ばく管理 -産業医学から見る放射線被ばく-』

産業医科大学病院 永元 啓介 先生

放射線被ばくについて医療法改正に伴う医療放射線に係る安全管理に関するお話や今後、医療従事者の被ばくについて行われる新たな取り組みの内容など最新の放射線被ばく管理・防護のお話をしてくださいました。日本でも水晶体の被ばく線量を 2021 年に引き下げることが決定しており、それに伴う水晶体被ばくの管理また放射線被ばくのマネジメントシステムが重要になってくることを説明してくださいました。医療被ばくだけでなく職業被ばくに関してもこれからは今まで以上に管理・見直しが必要になってくると感じました。

2日目

『当院における Angio 領域特殊撮影法 (Device-CT,Solitaire-CT,IV-DSA)』

大阪警察病院 泉 夏彦 先生

警察病院で行っている Angio 特殊撮影方法をご紹介してくださいました。動脈瘤に対して行うコイル塞栓術で使用するステントの描出能に関する検討や静脈からの造影によるストローク患者を対象とした DSA 撮影など頭部領域においてさまざまな取り組みが行われておられました。

『CT 造影理論 ~イオン性ヨード造影剤の薬物動態について~』

大阪急性期・総合医療センター 宮原 哲也 先生

CT 造影理論の基礎的な内容と今年の日本放射線技術学会秋季大会で発表させていただいた研究内容をお話しさせていただきました。CT 検査において非イオン性ヨード造影剤がどういった挙動を示すのか、分布容積と被検者因子が造影効果にどういった関係性があるのかといった内容を講演させていただきました。

『一般撮影の撮影条件と再撮影を倫理的視点で考える ~共通善という視点から~』

大阪国際がんセンター 伊泉 哲太 先生

一般撮影において画質や撮影条件など独自の目線で考えておられる内容に関してご講演してくださいました。業務内でできた疑問や問題点を実際に検討して明らかにしたことなど実例を示しながら説明してくださいました。また ASSISTA Management といった撮影件数や撮影部位数、写損率などの統計データを『見える化』することができるアプリの紹介もしていただき、データから考える必要性についても教えてくださいました。

『診療放射線技師とリスクマネジメント』

近畿大学病院 西 環 先生

リスクマネジメントの重要性に関して実際に起きてしまった事例をあげてお話してくださいました。『マシュマロチャレンジ』というゲームを実際に行い、PDCA サイクルの必要性を学ぶことができました。ランダムにチーム分けしたこともあり、あまりお話しをする機会がなかった方々との交流もできたのではないのでしょうか？



特別講演 永元先生



物療校友会 西会長



夕食時



集合写真

懇親会時には毎年恒例の自己紹介タイムもあり、他施設の技師の方々ともたくさんの意見交換ができたのではないのでしょうか？ 2日間と短期間ではありましたが、皆様にとって貴重な時間になったと思っております。また来年度も開催することができればと考えております。

次回の勉強会の詳細は決まり次第、物療校友会ホームページに更新致しますのでご確認お願いします。(2020年2月or3月の予定) 今後もたくさんのご参加をお待ちしております。

作成日：2019年11月14日